中高生とともに差別と闘う

みんなで語り合う人権学習はすべてを変える

吉成タダシ（うずしおブランチ代表）

人権こども塾文化祭2023

十一月五日、「みんなでトークオーバー・人権こども塾文化祭2023」を、県立博物館のイベントホールで開催しました。こども塾として初の試みです。塾生メンバーに晴れの舞台を経験させたかった思いもあり、馴染みのない人権課題を深めてほしかった思いもあり、保護者に我が子の頑張りを見てほしかった思いもあり、いろんな思いを込めた文化祭でした。

＊

第1部は、「『自分を語る』学習発表会」と題して、これまでの学びを振り返る一時間です。

○人権学習やこども塾と出会い、生まれ変わることができたと語る子。

○人前で発表ができるようになったと、重監房について語る子。

○障がいをもつ兄への見方が変わったと語る子。

○「ナツノオト」を読んで、自分の家庭環境と重なったと語る子。

○吃音がある自分のことを全校生に伝えることで変われたと語る子。

○不登校だった自分が救われたような水族館を作りたいと語る子。

○中一の人権作文をみんなが褒めてくれたことがきっかけだと語る子。

○参加するようになって人とのつながりが広がったと語る子。

○小学生の時にいた外国のクラスメイトを差別していたと語る子。

○人権作文を発表したことが、今の意欲につながっていると語る子。

スポットライトを浴びながら、ステージで堂々と立ち、マイクを握りしめて自分を語るこどもたちをハラハラしながら見る私のまなざしは、親目線だったと思います。

「あの子がこんなことを言うのか」

「家族や自分のことをそんなふうに思っていたのか」

「そんな夢があるんだ」

「小学校時代にそんなことがあったのか」

いろんなことを思わせられた、感動がほとばしる一時間でした。

＊

「良い経験になりました。今まで誰にも言えなかったことが言えたので、スッキリしました。けど、今まで一人にも話せなかったのに、いきなり大勢の前で話すのは、なかなかに勇気がいりました。今、話し終えて思うことは、やっぱり「自分が抱え込まないことが大事だ」ということです。話す前と話した後では、明らかに話せてよかったなと思います!!こういう気持ちをふまえて、改めて！人権こども塾に入ってよかったと思います。」

「今回の人権こども塾は、自分の知らなかったことやいろんな子の話を聞くことができて、すごく時間が経つのが早かったです。『ナツノオト』で出てきた内容であったり、福島の原発の内容であったり、表面的には知っていた問題へ深く関心を持つことができた会だったと思います。皆が人に語っていくことで、解放されるよろこびが生まれる姿は、見て聴いている側も幸せな気持ちになりました。いつも仲良く楽しく話している友達の悩みや心の内を聴いて、よりその子のことを知れて、これまで以上に壁、距離がなくなったんじゃないかと、少し勝手ながら感じました。そして、こういった語り合いの場があることで救われる人がいることが改めて分かりました。他人事から我が事にするとはどういうことなのか、我が事にすることの大切さも改めて学べて、普段から我が事だと捉えて過ごしていこうと思いました。これからの語り合う機会も、一回一回かみしめて経験したいです。」

みんなが成長

ある参加者の感想です。

「本当に充実したイベントに立ち会うことが出来た、と感じております。と言いますのも、人前で自分の言葉で自分の体験や考えを話す、というのは難しいことだと思います。誰にどう思われるかを気にして、自分を繕うように生きてしまうな、と自分で感じることも多いものです。それでも中高生の皆さんが勇気を持ってまっすぐに話す姿は本当にたくましく、こちらも勇気をもらうような一日でした。」

私たちには当たり前になっていることが、一般的にはそうでないとあらためて思わせられました。でもそれは特別なことではなく、おそらく多くの子がそうなる可能性を秘めているのだと思います。

保護者からも感想をいただきました。

「文化祭に参加して娘の発表を見ることができて良かったです。自分の意見を持っていても、発表するのが苦手だった娘です。当日の朝は、緊張からご飯をほとんど食べられず、お腹も痛いと言ってました。それでもみんなの前で自分の言葉で発表しようとした姿をとても嬉しく思いました。また、壇上で発表した他の子ども達も自分の考えをしっかりと伝えており、私の中学時代あんなふうに言えたかなと思ってしまいました。こども塾に参加していることで、私自身も娘と一緒に考えることができて、良い刺激になっています。

これからもよろしくお願いいたします。ありがとうございました。」

塾生みんながステージに立ったわけではありません。「まだ難しい」という子は、ステージの下で見ていました。

「私はステージの上にあがって話をすることはできなかったけれど、見ていて本当にあっという間でした。

本番前の控室での軽食をとっているとき、皆の様子から緊張しているようにあまり見えなかったけど、最後控室で一人ずつ感想を述べていくときや、解散後の会話から、とても緊張していたことがよく分かりました。でもとても緊張しながらも、皆の前で自分を語っている様子は、本当に格好良かったし、良い話を聞かせてくれた皆に、とても感謝しています。今回とてもいい学びができました。ありがとうございました！」

つくづく思います。みんなで語り合う人権学習はすべてを変える、と。

イラスト　中島　亜唯